

報告第6号

平成29年度公益財団法人北播磨地場産業開発機構事業計画及び予算の報告について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により、平成29年度公益財団法人北播磨地場産業開発機構事業計画及び予算を別紙のとおり報告する。

平成29年6月8日

西脇市長 片山 象三

# 平成29年度事業計画書及び収支予算書

公益財団法人北播磨地場産業開発機構

# 平成29年度事業計画書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

我が国の経済は全体としては上向いていると言われていたが、地方経済に重要な役割を占める地場産業は厳しい状況が続いている。

平成28年度の地場産業においては、「播州織」の生産数量は年間で対前年比約13%の減となり今後さらに厳しい状況が予想され、「播州釣針」の生産数量は年間通してほぼ横ばいとなったが、企業間格差は引き続き拡大している。

地域経済活性化のためには地場産業の振興が重要であり、「播州織」と「播州釣針」の業界においては、それぞれのブランドの発信に努め、新商品の開発、総合素材展の開催や各種展示会への出展などを行い、地場製品のPRや販路拡大等の活性化事業に積極的に取り組む必要がある。

当財団においては、引き続き地場産業振興のための適切な育成支援事業を展開していくため、兵庫県及び地域行政の支援を得ながら、関係業界と連携してより効果的な事業の推進を図る計画である。

本年度の具体的な事業内容は、次のとおりである。

## 記

### 〔公益目的事業〕

北播磨地域の地場産業の普及振興事業及び人材育成事業

#### 1 新製品・新技術及びデザインの研究開発事業（定款第4条第1号）

##### (1) 播州織ブランド新商品試作開発事業

###### ア 事業内容

地域ブランド「播州織」の発信と最新の先染織物播州織を市場に提案するための新商品の試作開発を行う。220年以上にわたり培われた伝統の織技術と最新の加工技術を駆使して、新商品を試作開発する。

###### イ 実施方法

播州織業界団体から推薦を受けた委員で構成する新商品試作開発委員会を組織し、染・織・加工の技術を駆使した先染めテキスタイルの試作開発を行う。

開発新商品は、播州織総合素材展2018に展示して来場者に提案する。

#### 2 地場産業製品の普及事業（定款第4条第2号）

(1) 播州織総合素材展事業

ア 事業内容

東京で7年ぶりに開催した播州織総合素材展2017が多数の来場者で盛況であったことから、今年度も東京での開催を調整し、商社、アパレル、デザイナー等との新しい取組や商談を推進する。

イ 実施方法

播州織業界及び地域行政で実行委員会を組織し、事業の企画と実施に当たるとともに、一般社団法人日本アパレル・ファッション産業協会との連携により、多くのアパレル、ファッション業界関係者の来場を図る。

ウ 実施時期・場所

- (7) 播州織総合素材展2018  
時 期 平成30年2月  
場 所 東京都内

(2) 播州織ブランド普及振興事業

ア 事業内容

播州織を使用した魅力ある製品づくりを行い、消費者に直接「播州織」ブランドをPRし、イメージアップを図る。

イ 実施方法

播州織ブランド普及振興事業実行委員会（地域行政、業界）を組織し、事業内容の企画検討を行う。

(7) 播州織コレクション事業

デザイナー・クリエーター等と産地が連携して製品の試作開発を行い、ファッションショーや展示による「播州織」ブランドをPRする。

ショー・展示開催予定 平成30年2月（場所未定）

(4) ブランド発信PR事業

ブランド専用ホームページによる発信を行う。

(3) 播州織インターンシップ支援事業

ア 事業内容

国内の学校や企業等でマーケティングノウハウやデザイン等の専門知識を学ぶために比較的短期間（3か月～6か月程度）のインターンシップ研修を支援する。

イ 実施方法

産地構成団体を通じて研修希望者を募集し、内容を審査の上、補助金を交付する。

(4) 播州織ジョブフェア開催事業

ア 事業内容

ものづくりに興味のある若手人材を産地に呼び込むため、昨年度に引き続き、多くのデザイナーやファッション関係の学生が集まる東京でジョブフェアを開催し、播州織産地や企業の紹介を行う。

イ 実施方法

播州織総合素材展に併せて開催し、播州織産地のPR、企業紹介や人材紹介を実施する。

ウ 開催時期・場所

(7) 播州織ジョブフェア

時 期 平成30年2月

場 所 東京都内

(5) 播州釣針地場産業展出展事業

ア 事業内容

播州釣針及び地域ブランド「播州毛鉤」の普及・PRのため、各種展示会に積極的に出展を行い、市場関係者及び消費者にPRして播州釣針産業への関心を高めるとともに、需要拡大の機会を創出する。

(7) 播州釣針及び釣針製品の展示

(4) 毛鉤製作の実演

イ 実施方法

釣針業界で実行委員会を組織して事業の企画を行う。毛鉤製作の実演については、播州毛鉤伝統工芸士を中心に行い、播州釣針及び釣針製品の展示も併せて行う。

ウ 実施時期・場所

(7) にしわき産業フェスタ

時 期 平成29年11月

場 所 西脇市

(4) 伝統工芸ふれあい広場

時 期 平成29年11月

場 所 東京都

(7) 国際フィッシングショー2018・横浜

時 期 平成30年1月

場 所 横浜市

(6) 播州釣針普及事業

ア 事業内容

播州釣針のPRと消費者ニーズを把握するとともに、釣り人口を拡大して播州釣針の販売促進を図るため、主として家族及び子どもを対象とした釣り大会を実施する。

また、資源保護のため稚魚の放流も行う。

イ 実施時期・場所

(7) 稚魚の放流

時期 平成29年6月

場所 瀬戸内海

(4) 鮎の毛鉤釣り大会

時期 平成29年6月

場所 神奈川県 相模川

(9) ファミリー海釣り教室

時期 平成29年10月

場所 福井県

3 地場産業の経営者、技術者の研修事業（定款第4条第4号）

(1) 人材育成事業

ア 人材育成研修事業

(7) 事業内容

産地の生産体制維持のための技術継承、産地の魅力を高めるための商品開発力及びPR力育成のセミナー又は講習会を実施する。

(4) 実施方法

産地業界関係者を対象に、商品企画・開発、ブランド戦略、ITを利用したPRや広報対策、技術継承などの内容で、年間数回程度開催する。

〔収益等事業〕

その他の事業

1 地場産業振興のための情報の収集提供に関する事業（定款第4条第3号）

(1) 播州織情報収集事業

ア 事業内容

播州織の生産状況、出荷状況などを迅速に把握し、かつ、産地内外へ提供することで、情報の共有化と生産の効率化を図る。

イ 実施方法

各関係機関でまとめたデータ等を定期的に収集し、産地内外に提供する。

提携先 一般財団法人メンケン品質検査協会、業界団体

## 2 地場産業振興のための調査事業（定款第4条第5号）

### (1) 戦略推進事業

#### ア 事業内容

播州織ビジョン委員会の運営会議やワーキンググループで研究、協議した「播州織への提言」について、業界の実行状況を確認する。

また、他産地との交流事業を実施し、他産地の状況を調査する。

#### イ 実施方法

(7) 播州織ビジョン委員会や運営会議を開催し、産地課題の解決と将来像に向けての研究を行う。

(4) 産地間交流事業については、交流先を調査し、産地業界から希望者を募集し実施する。

## 3 縫製品PR事業（定款第4条第2号）

### (1) 縫製品PR事業

#### ア 事業内容

にしわき産業フェスタ等で縫製品の展示を行い、関係者及び消費者にPRして需要拡大の機会を創出する。

播州織を使った縫製品を実際に着用しPRする機会を創出する。

#### イ 実施時期・場所

(7) 北はりまビジネスフェア

時 期 平成29年10月

場 所 小野市

(4) にしわき産業フェスタ

時 期 平成29年11月

場 所 西脇市

# 収支予算書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1 経常増減の部</b>			
<b>(1) 経常収益</b>			
<b>基本財産運用益</b>	<b>418</b>	<b>428</b>	<b>△ 10</b>
基本財産利息収入	418	428	△ 10
<b>受取補助金等</b>	<b>18,740</b>	<b>18,940</b>	<b>△ 200</b>
ブランド力強化・海外支援補助金	5,500	4,000	1,500
マーケット対応力強化事業補助金	1,700	1,700	0
団体補助金	160	160	0
地方公共団体補助金	11,380	13,080	△ 1,700
<b>受取負担金</b>	<b>14,487</b>	<b>15,132</b>	<b>△ 645</b>
分担金収入	14,487	15,132	△ 645
<b>雑収益</b>	<b>56</b>	<b>56</b>	<b>0</b>
受取利息	55	55	0
雑収入	1	1	0
<b>経常収益計</b>	<b>33,701</b>	<b>34,556</b>	<b>△ 855</b>
<b>(2) 経常費用</b>			
<b>事業費</b>	<b>23,420</b>	<b>24,275</b>	<b>△ 855</b>
謝金	70	390	△ 320
旅費	2,110	4,649	△ 2,539
会議費	42	37	5
通信運搬費	737	772	△ 35
印刷製本費	1,010	640	370
消耗品費	713	445	268
研究開発事業費	30	10	20
賃借料	2,039	2,552	△ 513
会場整備費	3,300	2,500	800
広告宣伝費	1,270	1,116	154
外注加工費	285	275	10
役務費	260	252	8
原材料費	368	368	0
負担金支出	50	72	△ 22
雑費	5	5	0
支払手数料	23	10	13
繰入金支出	11,108	10,182	926
<b>管理費</b>	<b>10,281</b>	<b>10,281</b>	<b>0</b>
給料手当	6,468	6,468	0
福利厚生費	1,262	1,262	0
通勤費	120	120	0
会議費	20	20	0
旅費	124	124	0
通信運搬費	61	61	0
消耗品費	250	250	0
印刷製本費	40	40	0
賃借料	1,060	1,060	0
共益費	300	300	0
諸謝金	350	350	0
負担金支出	196	196	0
雑費	30	30	0
<b>経常費用計</b>	<b>33,701</b>	<b>34,556</b>	<b>△ 855</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>

2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	230,899	230,765	134
一般正味財産期末残高	230,899	230,765	134
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	230,899	230,765	134

## 平成29年度業界別事業予算説明

(単位：千円)

業 界 名	事 業 名	予 算 額	備 考
播州織業界	播州織ブランド新商品試作開発事業	2,912	
	播州織総合素材展事業	7,075	
	播州織ブランド普及振興事業	5,333	
	播州織インターンシップ支援事業	1,401	
	播州織ジョブフェア開催事業	2,125	
	播州織情報収集事業	545	
	戦略推進事業	266	
	小 計	19,657	
釣針業界	播州釣針地場産業展出展事業	679	
	播州釣針普及事業	1,170	
	小 計	1,849	
縫製関係	縫製品PR事業	280	
	小 計	280	
共通事業	人材育成事業	1,634	
	小 計	1,634	
合 計		23,420	